

## 3 ポリシー（ディプロマ・カリキュラム・アドミッション）について

### ■ 外国語学研究科英語学専攻 （博士前期課程）

#### 人材養成目的

外国語学研究科英語学専攻（博士前期課程）は、高度な英語運用能力を基盤とし、国際社会に貢献する豊かな教養を備えた人材を養成することを目的とします。

具体的には、グローバル化社会において地域社会を支える、豊かな英語コミュニケーションを備えた高度専門職業人としての中・高英語教員、また博士後期課程に進学し、知識基盤社会の中核となる専門人材としての教育能力と研究能力を兼ね備えた大学教員等になるための素地を養成します。

#### 学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

英語学、英語教育の研究領域に関する基本的な知識を有し、それを関係職業領域で実践的に展開できる能力を有すること、および独自の視点をもって研究できる能力を有することを基準とします。

上記の基準に達した者に、「修士(英語学)」あるいは「修士(英語教育)」の学位を授与します。

#### 教育課程の編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

##### （1）教育課程の編成および実施方法に関する基本的方針

- ① 高度専門職業人養成をめざすことから、英語学、英語教育に関する専門分野の理論的な知識と教育界などの現場での実務実践を架橋する教育課程の構築をめざします。
- ② コースワークから研究指導へ有機的につながる体系的な大学院教育の確立をめざします。
- ③ 教員の役割および連携を明確にし、体系的な教育を提供するための組織的な指導体制の確立をめざします。

##### （2）教育課程の編成方針

本専攻の教育上の目的を達成するために、必要な授業科目を置くとともに学位論文の作成等に対する指導を行うなど、体系的な教育課程を編成するものとします。

このため、授業科目【コースワーク】および学位論文の作成等に対する指導科目【研究指導】をそれぞれ「専門科目」と「専門演習科目」に区分します。

## ア. 専門科目

専門科目においては、高度な英語運用能力を育成するとともに、あわせて言語の持つ構造、意味、機能などの理論や、第二言語としての英語の教授法、第二言語習得理論などの領域の基礎的な知識の習得をめざします。

## イ. 専門演習科目

専門演習科目においては、高度な英語運用能力をもとに、英語学、英語教育における幅広い専門分野の基礎的な知識の習得をはじめ、学位論文作成にあたって論理的・批判的思考力、論文作成技法などの習得をめざします。

### 入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

本専攻の人材養成目的等を達成するため、「求める学生像」を次のとおり定め、英語力を中心とする基礎学力等をもとに選抜を行い、入学者を受け入れます。

#### （求める学生像）

- ① 英語の高度な運用能力と言語の持つ構造、意味、機能などの言語学に関する広く深い知識の習得に興味を有する者
- ② 第二言語としての英語の教授法、授業運営など中等教育・高等教育における英語教育に関する広く深い知識の習得、およびその実践に興味を有する者

## ■ 外国語学研究科言語文化専攻 (博士前期課程)

### 人材養成目的

外国語学研究科言語文化専攻（博士前期課程）は、高度な言語運用能力を基盤とし、国際社会に貢献する豊かな教養を備えた人材を養成することを目的とします。

具体的には、グローバル化社会において産業を支える職業人材としての国際ビジネスパーソン、通訳等の実務者を養成します。また博士後期課程へ進学し、知識基盤社会の中核となる専門人材としての教育能力と研究能力を兼ね備えた大学教員等になるための素地を養成します。

### 学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

スペイン語学、日本語学、あるいは英語コミュニケーションの研究領域に関する基本的な知識を有し、それを関係職業領域で実践的に展開できる能力を有すること、および独自の視点をもって研究できる能力を有することを基準とします。

上記の基準に達した者に、「修士(言語文化)」、「修士(日本語学)」、あるいは「修士(英語ビジネスコミュニケーション)」の学位を授与します。

### 教育課程の編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

#### （１）教育課程の編成および実施方法に関する基本的方針

- ① 高度専門職業人養成をめざすことから、言語学、言語教育、言語コミュニケーションなどに関する専門分野の理論的な知識と教育界、国際ビジネス界などの現場での実務実践を架橋する教育課程の構築をめざします。
- ② コースワークから研究指導へ有機的につながる体系的な大学院教育の確立をめざします。
- ③ 教員の役割および連携を明確にし、体系的な教育を提供するための組織的な指導体制の確立をめざします。

#### （２）教育課程の編成方針

本専攻の教育上の目的を達成するために、必要な授業科目を置くとともに学位論文の作成等に対する指導を行うなど、体系的な教育課程を編成するものとします。

このため、授業科目【コースワーク】および学位論文の作成等に対する指導科目【研究指導】をそれぞれ「専門科目」と「専門演習科目」に区分します。

## ア. 専門科目

専門科目においては、高度な外国語運用能力を育成するとともに、あわせて言語の持つ構造、意味、機能などの理論や、第二言語としてのスペイン語あるいは日本語の教授法、第二言語習得理論、あるいは言語コミュニケーションなどの領域の基礎的な知識の習得をめざします。

## イ. 専門演習科目

専門演習科目においては、高度な外国語運用能力をもとに、言語学、言語教育、言語コミュニケーションなどにおける幅広い専門分野の基礎的な知識の習得をはじめ、学位論文作成にあたって論理的・批判的思考力、論文作成技法などの習得をめざします。

### 入学受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

本専攻の人材養成目的等を達成するため、「求める学生像」を次のとおり定め、英語力をはじめスペイン語力、あるいは日本語力を中心とする基礎学力等をもとに選抜を行い、入学者を受け入れます。

#### （求める学生像）

- ① 言語（英語、スペイン語、日本語）の高度な運用能力と言語の持つ構造、意味、機能などの言語学に関する広く深い知識の習得に興味を有する者
- ② 第二言語としてのスペイン語あるいは日本語の教授法、授業運営など中等教育・高等教育における言語教育に関する広く深い知識の習得、およびその実践に興味を有する者
- ③ 英語の高度な運用能力と英語コミュニケーション分野に関する広く深い知識の習得、および国際ビジネス界など国際舞台での実践に興味を有する者

## ■ 外国語学研究科英語学専攻 (博士後期課程)

### 人材養成目的

外国語学研究科英語学専攻（博士後期課程）は、高度な言語運用能力を基盤とし、国際社会に貢献する豊かな教養を備えた人材を養成することを目的とします。

具体的には、今日のグローバル化社会において、教育を担う者としての自覚や意識の涵養と学生に対して教育を施すための確かな能力と、自立して研究活動を行うことができる能力を兼ね備えた教育者（大学教員等）などとして活躍できる優れた人材を養成します。

### 学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

英語学、英語教育の研究領域に関する高度な知識を有し、それを関係職業領域で実践的に展開できる能力を有すること、および自立して高度の研究を遂行することができる学究的能力を有することを基準とします。

上記の基準に達した者に、「博士(英語学)」あるいは「博士(英語教育)」の学位を授与します。

### 教育課程の編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

#### （１）教育課程の編成および実施方法に関する基本的方針

- ① 教育を担う者としての自覚や意識の涵養と学生に対して教育を施すための確かな能力と、自立して研究活動を行うことができる能力を兼ね備えた教育者（大学教員等）などの養成をめざします。このことから、英語教育における実務実践はもとより、英語学、英語教育に関する深化した専門分野の高度な専門的知識をもとに、自立して高度な研究を遂行することのできる学究的能力を身につけるための教育課程をめざします。
- ② コースワークから研究指導へ有機的につながる体系的な大学院教育の確立をめざします。
- ③ 教員の役割および連携を明確にし、体系的な教育を提供するための組織的な指導体制の確立をめざします。

#### （２）教育課程の編成方針

本専攻の教育上の目的を達成するために必要な授業科目を置くとともに学位論文の作成等に対する指導を行うなど、体系的な教育課程を編成するものとします。

このため、授業科目【コースワーク】および学位論文の作成等に対する指導科目【研究指導】をそれぞれ「専門科目」と「専門演習科目」に区分します。これに加え、大学教員として必要となる基礎

的な知識を習得する科目群として「自由科目」を設けます。

#### **ア. 専門科目**

専門科目においては、高度な英語運用能力を育成するとともに、あわせて言語の持つ構造、意味、機能などの理論、第二言語としての英語教育における領域の知識の深化・高度化をめざします。

#### **イ. 専門演習科目**

専門演習科目においては、高度な英語運用能力をもとに、英語学、英語教育における幅広い専門分野の知識を深化させ、自立して高度な研究を遂行できる学術的能力を身につけることができるよう、研究指導教員等による指導のもと、学位論文の完成をめざします。

#### **ウ. 自由科目**

教育を担う者としての自覚や意識の涵養と学生に対して教育を施すための確かな能力と、自立して研究活動を行うことができる能力を兼ね備えた大学教員等を養成することから、その素地として、高等教育制度、大学評価など高等教育に関する知識、および大学教員職としての学識 (scholarship) などに関する知識の習得をめざします。

### **入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）**

本専攻の人材養成目的等を達成するため、「求める学生像」を次のとおり定め、英語力をはじめ、研究領域における知識の理解度等をもとに選抜を行い、入学者を受け入れます。

#### **（求める学生像）**

- ❶ 高度な英語運用能力と言語の持つ構造、意味、機能などの英語学に関する広く深い知識の習得に興味を有する者
- ❷ 第二言語としての英語の教授法、授業運営など中等教育・高等教育における英語教育に関する広く深い知識の習得、およびその実務実践に興味を有する者
- ❸ 教育を担う者としての自覚や意識の涵養と学生に対して教育を施すための確かな能力と、自立して研究活動を行うことができるだけの英語学・英語教育に関する分野の基礎的な知識を有している者

## ■ 外国語学研究科言語文化専攻 (博士後期課程)

### 人材養成目的

外国語学研究科言語文化専攻（博士後期課程）は、高度な言語運用能力を基盤とし、国際社会に貢献する豊かな教養を備えた人材を養成することを目的とします。

具体的には、今日のグローバル化社会において、教育を担う者としての自覚や意識の涵養と学生に対して教育を施すための確かな能力と、自立して研究活動を行うことができる能力を兼ね備えた教育者（大学教員等）などとして活躍できる優れた人材を養成します。

### 学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

スペイン語学、日本語学の研究領域に関する高度な知識を有し、それを関係職業領域で実践的に展開できる能力を有すること、および自立して研究活動を行うことができる学術的能力を有することを基準とします。

上記の基準に達した者に、「博士(言語文化)」、あるいは「博士(日本語学)」の学位を授与します。

### 教育課程の編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

#### （１）教育課程の編成および実施方法に関する基本的方針

- ① 教育を担う者としての自覚や意識の涵養と学生に対して教育を施すための確かな能力と、自立して研究活動を行うことができる能力を兼ね備えた教育者（大学教員等）などの養成をめざします。このことから、教育界における実践はもとより、言語学、言語教育に関する深化した専門分野の高度な専門知識をもとに、自立して高度な研究を遂行することのできる学術的能力を身につけるための教育課程をめざします。
- ② コースワークから研究指導へ有機的につながる体系的な大学院教育の確立をめざします。
- ③ 教員の役割および連携を明確にし、体系的な教育を提供するための組織的な指導体制の確立をめざします。

#### （２）教育課程の編成方針

本専攻の教育上の目的を達成するために必要な授業科目を置くとともに学位論文の作成等に対する指導を行うなど、体系的な教育課程を編成するものとします。

このため、授業科目【コースワーク】および学位論文の作成等に対する指導科目【研究指導】をそれぞれ「専門科目」と「専門演習科目」に区分します。これに加え、大学教員等としての必要な基礎

的な知識を習得する科目群として「自由科目」を設けます。

#### **ア. 専門科目**

専門科目においては、高度な外国語運用能力を高めるとともに、あわせて言語の持つ構造、意味、機能などの理論、第二言語としての言語教育における領域の知識の深化・高度化をめざします。

#### **イ. 専門演習科目**

専門演習科目においては、高度な言語運用能力をもとに、言語学、言語教育における幅広い専門分野の知識を深化させ、自立して高度な研究を遂行できる学術的能力を身につけることができるよう、研究指導教員等による指導のもと、学位論文の完成をめざします。

#### **ウ. 自由科目**

教育を担う者としての自覚や意識の涵養と学生に対して教育を施すための確かな能力と、自立して研究活動を行うことができる能力を兼ね備えた大学教員等を養成することから、その素地として、高等教育制度、大学評価など高等教育に関する知識、および大学教員職としての学識 (scholarship) などに関する知識の習得をめざします。

### **入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）**

本専攻の人材養成目的等を達成するため、「求める学生像」を次のとおり定め、英語力をはじめ、スペイン語力、日本語力、研究領域における知識の理解度等をもとに選抜を行い、入学者を受け入れます。

#### **（求める学生像）**

- ❶ 高度な言語（英語、スペイン語、日本語）運用能力と言語の持つ構造、意味、機能などの言語学に関する広く深い知識の習得に興味を有する者
- ❷ 第二言語としてのスペイン語あるいは日本語の教授法、授業運営など中等教育・高等教育における言語教育に関する広く深い知識の習得、およびその実務実践に興味を有する者
- ❸ 教育を担う者としての自覚や意識の涵養と学生に対して教育を施すための確かな能力と、自立して研究活動を行うことができるだけの言語学・言語教育に関する分野の基礎的な知識を有している者